


分野	32	人権	通番 60
施策	321	人権・平和を尊ぶまちづくり	
5年後の目標		一人ひとりが確かな人権意識と平和を尊ぶ心を持ち、差別と人権侵害に対して、考え行動する力を有している。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	人権教育・啓発推進事業		会計	款	項	目	1,352,572	生涯学習課
			一般	10	1	3		
事業の概要								
全ての市民の基本的な人権が守られ個性と能力を發揮することができる社会を目指し、全市民を対象とし「人権啓発作品の募集」と「人権問題研究市民集会」の開催を行います。								


平成30年度の取組							
D (取組)	指標	「人権問題研究市民集会」の参加者数及び人権啓発作品応募者の総数				単位	人
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	4,941 (平成26年度)	目標	5,000	5,000	5,200	5,200	5,200
		実績	5,285	5,256	5,501		
<ul style="list-style-type: none"> ・12月6日に社会教育関係団体指導者研修会「LGBTの現実と未来」を開催しました。 ・人権啓発作品を募集し、2月23日に開催した人権問題研究市民集会で、入賞作品の表彰ならびにヒューマンステージを行いました。人権啓発作品については5,234人から6,174件の応募があり、児童をはじめ数多くの市民に人権について考える機会を設けました。 					人権問題研究市民集会の様子 		

施策の「5年後の目標」に対する評価					
平成30年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁	
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・(社会教育関係団体指導者研修会) LGBTについての正しい知識を得ることはもちろん、当事者ならではのお話は、参加者にとって強く印象を受けるものとなりました。アンケートの結果では、「よかった」と全員から回答を得ました。 ・(人権啓発作品募集) 長岡京市内の小・中・高校、大学等に協力を依頼し、目標の5,000人を超える方々からの応募があり、一般の市民からの応募も増えました。 ・(人権問題研究市民集会) 200人以上の市民の参加がありました。 	
	課題等	・人権作品の募集について、次年度以降も参加者数が維持・増加するよう取り組む必要があります。			

目標達成に向けての次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
1: 計画通りに進めることが適当		<ul style="list-style-type: none"> ・人権啓発作品募集や人権問題研究市民集会について、広く市民が参加できるよう、募集する啓発作品の種類や市民集会での発表方法を再検討します。 ・社会教育関係団体指導者研修会、人権問題研究市民集会では、社会状況を踏まえたテーマの選定と充実した広報を行います。

分野	32	人権	通番 61
施策	321	人権・平和を尊ぶまちづくり	
5年後の目標		一人ひとりが確かな人権意識と平和を尊ぶ心を持ち、差別と人権侵害に対して、考え行動する力を有している。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	北開田会館運営事業		会計	款	項	609,378	北開田会館
			一般	3	1		
事業の概要							
人権問題解決に向け関係行政機関及び隣保館連絡協議会等と連携するとともに、住民の総合的な生活相談に応じ、自立支援のための適切な指導・助言を行います。							


平成30年度の取組							
D (取組)	指標	北開田会館における人権啓発事業の利用人数				単位	人
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	3,208 (平成26年度)	目標	3,300	3,400	3,500	3,600	3,700
		実績	3,268	3,984	4,104		
<ul style="list-style-type: none"> ・習字教室(48回)、男の料理教室(3回)、ウォーキング教室(8回)、ヨガ教室(10回)、スマートフォンを活用するパソコン教室(2回)、陶芸教室(3回)、京文化教室(4回)、ゲートボール教室(1回)、囲碁将棋教室(48回)、手づくり教室(2回)を実施しました。 ・高齢者の健康維持を目的としたデイサービス事業を12回(健康体操と給食サービスを7回、自力整体と給食サービスを1回、認知症サポーター養成講習と給食サービスを1回、防災講習と給食サービスを1回、寄植教室を2回)実施しました。 ・人権教育指導員による各種人権研修を開催しました。 							

施策の「5年後の目標」に対する評価					
平成30年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標		評価指標の傾向・トレンド	対応頁
		—		—	—
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・北開田会館事業として文化教養事業における参加者が減少傾向にありますが、デイサービス事業の参加者は広報活動の強化により増加しています。 ・乙訓地域で活動する手話サークルが、北開田会館を活動拠点にされたことで、人数については増加しています。 	
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・教室参加者が高齢化、固定化しているため、広報活動(北開田だより・各教室のチラシ)を工夫するとともに、参加者を増やす新たな取り組みが必要です。 				

目標達成に向けての次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> ・教室の事業内容を一部変更することで、新たな参加者の増加を図ります。 ・地域の高齢化が進んでいることから、地域包括支援センター等の関係機関と連携し、健康の維持増進や、認知症予防・介護予防の教室を開催するなど、地域の見守り体制の強化につながる事業を実施し、生活相談や自立支援のための適切な指導・助言を行う機会を増やします。

分野	32	人権	通番 62
施策	321	人権・平和を尊ぶまちづくり	
5年後の目標		一人ひとりが確かな人権意識と平和を尊ぶ心を持ち、差別と人権侵害に対して、考え行動する力を有している。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	平和施策推進事業		会計	款	項	396,826	人権推進課
			一般	2	1		
事業の概要							
戦後70年以上が経過し、戦争体験が風化しつつある中で、地域の戦争体験(神足空襲)や戦争の悲惨さを伝え、平和の尊さやいのちの大切さを考える機会を提供することが必要です。そのため、行政として中立的な立場から「平和を考える市民フォーラム」を中心とするイベントを行うとともに、インターネットを利用して戦争・平和に関する資料を掲載し啓発する「平和博物館(仮)」を開設・運用することにより平和施策を推進します。							


平成30年度の取組							
D (取組)	指標	平和へのメッセージの参加者数			単位	人	
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
		目標	240	260	280	300	320
	216(平成26年度)	実績	221	310	221		
<ul style="list-style-type: none"> ・7月14日に「平和を考える市民フォーラム'18」を開催し、参加者の増加と平和啓発を目的に、蓮池薫氏による講演会等を開催しました(参加者延べ1,852人)。 ○平和祈念碑、戦没者追悼の碑への献花 ○式典(蓮池薫氏「夢と絆」講演会、中学校吹奏楽部の演奏など) ○戦中戦後食すいとんの試食と資料展示 ○昔のくらしとおやつ体験コーナー ○絵本の読み聞かせ ○展示(平和を祈る折り鶴、平和メッセージ、平和に関するポスターなど) ・平和メッセージの募集を行い、フォーラムで展示しました。 ・平和を祈る折り鶴を募集し、折り鶴はフォーラムにて「平和の碑」へ献納及び展示後、広島市の原爆の子の像に献納しました(参加者数2,050人)。 ・6月15日に、長岡第四小学校で、平和ビジョン懇談会小林会長による平和学習を行い、平和を考える市民フォーラム当日に、学習内容の展示を行いました。 ・平和の取り組みパネルを「ガラシャウィーク」や「人権・男女共同参画フォーラム」で展示しました。 ・平和を考える市民フォーラムの開催日にあわせて、戦時資料や平和啓発教材を市ホームページにて閲覧できる「長岡京市バーチャル平和祈念館」を開設し、その後も内容を更新しました。 					「平和を考える市民フォーラム'18」での蓮池薫氏による講演会 		

施策の「5年後の目標」に対する評価				
平成30年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応員
			—	—
C (評価)	達成度合	B:目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	<ul style="list-style-type: none"> ・平和を考える市民フォーラムの日にあわせて、戦時資料や平和啓発教材を市ホームページにて閲覧できる長岡京市バーチャル平和祈念館を開設し、その後も内容の更新を行いました。 ・長岡第四小学校の6年生に対し、平和ビジョン懇談会小林会長による平和学習を行い、戦争と平和に対する理解を深めました。 ・平和を考える市民フォーラムの参加者数は、1,852人と平成29年の1,524人を大きく上回りました。 	
	課題等		<ul style="list-style-type: none"> ・指標である平和メッセージの参加者数が前年度と比べて減っているため、多くの人に参加いただくための取り組みが必要です。 ・長岡京市バーチャル平和祈念館について、若い世代の活用を促進する取り組みが必要です。 ・平和の尊さを次世代へ伝えるため、平和を考える市民フォーラムなどへの若年層の参加を促すことが必要です。 	

目標達成に向けての次年度以降の対応	
A (行動)	方向性
	1:計画通りに進めることが適当
	<ul style="list-style-type: none"> ・若者の平和施策への参画のため、市内の小中高校の児童生徒に、平和メッセージ作成の参加呼びかけを行い、平和を考える市民フォーラムへの参加を促します。 ・長岡京市バーチャル平和祈念館について、他市・他機関から借りた資料のアップロード、関連機関の紹介のためのリンク先の掲載等により、内容の充実を図ります。また、若年層(小中学校など)での平和学習の教材として活用してもらえるよう調整を進めます。

分野	32	人権	通番 63
施策	321	人権・平和を尊ぶまちづくり	
5年後の目標		一人ひとりが確かな人権意識と平和を尊ぶ心を持ち、差別と人権侵害に対して、考え行動する力を有している。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	障がい理解・合理的配慮提供促進事業		会計	款	項	目	3,904,651	障がい福祉課
			一般	3	1	10		
事業の概要								
障がい者差別の解消や理解促進を図るため、障がい特性の理解と合理的配慮の事例を学ぶ機会の創出や、主体的に行動できるサポーターづくりに取り組みます。								

平成30年度の取組								
D (取組)	指標(H30年度～)	障がい特性理解のための研修を受け、「あいサポーター」となった市民・事業者の数				単位	人、団体	
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2	
	平成30年度 新規事業	目標	/			300	600	1,000
		実績	/			270		
<ul style="list-style-type: none"> 市民や事業者が「誰もが共に自分らしく暮らす長岡京市障がい者基本条例」の趣旨を知り、障がいに対する理解と合理的配慮の必要性に触れる機会として、条例施行記念キックオフイベントを開催しました。 基本条例の趣旨に基づき、障がいについて理解を深め、障がいのある方に対しての手助けや配慮等を実践するあいサポーターの養成を通じて、誰もが暮らしやすい社会を目指すあいサポート運動を推進するために平成30年5月に鳥取県と「あいサポート運動の連携推進に関する協定」を締結しました。 ホームページや広報紙に合理的配慮の取組みやあいサポート運動の概要を掲載し、啓発を行いました。 					協定締結式			
								

施策の「5年後の目標」に対する評価				
平成30年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
		障がい者(児)に対するアンケートで、 ①「特に困っていることはない」が選択された割合 ②「将来的に生活する住まい、または施設があるかどうか不安」が選択された割合		4分の1以上の方が、「特に困っていることはない」と回答する一方で、将来的な不安については増加傾向にあり、現在の困難を取り除くとともに、将来に対する不安解消も今後取り組むべき課題です。
	B:目標をほぼ達成できた(目標の80%～100%程度)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 条例施行記念キックオフイベントでは、玉木幸則氏による基調講演とシンポジウム「誰もが共に暮らせる長岡京市とは」と展示を行い、約200人の来場者がありました。 市職員、団体、企業、市民を対象に計8回のあいサポーター研修を実施しました。その結果、270人のあいサポーターを養成し、障がいのある方に対する手助けや配慮を行うことができる人材の創出ができました。なお、あいサポーター研修を受講した企業1社4支店を「あいサポート企業」として認定しました。 合理的配慮や障害者総合支援法に関する出前ミーティングを計8回開催し、障がい理解の啓発ができました。 	
	課題等		<ul style="list-style-type: none"> 障がいを理由とする不利益取り扱いの解消や合理的配慮の提供を促進するため、継続して周知啓発していく必要があります。 誰もが暮らしやすい長岡京市を実現するために、障がいのある方に対し配慮できるあいサポーターのさらなる養成が必要です。 	

目標達成に向けての次年度以降の対応					
A (行動)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>方向性</th> <th>対応策等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1:計画通りに進めることが適当</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、市民・事業者・団体等へ積極的に周知啓発を行い、障がい理解の向上に努めます。 あいサポーター養成の拡大に向けて、ホームページの掲載やチラシの配架、口コミ等であいサポーター研修の情報発信に取り組み、研修参加者を増やす取り組みを行います。 </td> </tr> </tbody> </table>	方向性	対応策等	1:計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、市民・事業者・団体等へ積極的に周知啓発を行い、障がい理解の向上に努めます。 あいサポーター養成の拡大に向けて、ホームページの掲載やチラシの配架、口コミ等であいサポーター研修の情報発信に取り組み、研修参加者を増やす取り組みを行います。
方向性	対応策等				
1:計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、市民・事業者・団体等へ積極的に周知啓発を行い、障がい理解の向上に努めます。 あいサポーター養成の拡大に向けて、ホームページの掲載やチラシの配架、口コミ等であいサポーター研修の情報発信に取り組み、研修参加者を増やす取り組みを行います。 				